

第一副市長 本条例は労働者、事業者、市民の3者が満足できるものでなければ目的が達成できないことから、様々な意見聴取の機会を設ける予定だ。

議員 男女平等参画のための三鷹市行動計画にSRHR(性と生殖に関する健康と権利)の明確な位置づけが必要だ。見解を伺う。

DX推進担当部長 審議会でも重要な視点だとの意見



きらりいのちをめざす
市民派・無所属・れいわ
石井れいこ 議員



天文台北側の開発を全市民に説明せよ

答 引き続き、多様な手段での情報発信により、市民理解に努める

議員 インクルーシブ教育については、障がいのある子どもにも社会適応を強いる個人モデルから社会の側が障壁を除く配慮をする社会モデルへの転換が重要だ。

議員 大阪府吹田市は大学と共同で社会モデルの実践に係る教職員研修を実施している。本市でも実施すべきだ。

教育長 研究機関との協定の締結も視野に入れ、研修の計画、実施に取り組む。

議員 長期欠席傾向にある子どものための教室A-Rによる情報発信に取り組む。

市長 説明会を開催する予定はないが、多様な手段による情報発信に取り組む。



きらりいのちをめざす
市民派・無所属・れいわ
伊沢けい子 議員



井口グラウンドに民間病院をつくるな

答 全面売却を見直し正式なグラウンド整備と防災機能充実を進めるもの

議員 井口特設グラウンドの利用率は平日の昼間で約40%、土日は86・8%と非常に高い。南側敷地への民間病院誘致と正式グラウンド整備を進めることで、スポーツの機会継続と西部地域の防災性向上を図るものだ。

議員 病院誘致の公募型プロポーザルでは対象を市内病院のみとし、応募は三鷹中央病院のみであった。公募の意味はあったのか。

第三副市長 価格と提案内容を総合的に評価することで、公平かつ客観的に事業者を選定できたと考える。

議員 プロポーザルの結果も選定委員会のメンバーも議会には報告があったがホームページには掲載されていない。どういふことか。

第三副市長 議会に報告し

たものすべてを掲載できるわけではないが公表できるものはできるだけ公表していく。



正式グラウンド化に向け整備工事を開始した井口特設グラウンド



都民ファーストの会
原 めぐみ 議員



全校で地域子どもクラブの毎日実施を

答 地域間で差が生じない運営体制も検討しながら、早期実現に取り組む

議員 地域子どもクラブの毎日実施に向け、現在調整中の地域との情報交換を更に密に行い、全校での早期実現を強力に推進すべきだ。現状の課題と今後の見通しについて伺う。

子ども政策部長 同クラブの運営方法は、地域の実業者が支援する方式など様々であり、地域間で差が大きくなり生じないよう「標準設置」に向け検討したい。

議員 1日プレーパーク事業を通して近隣住民の理解も深まっており、早期の常設運営に向け検討したい。



都民ファーストの会
山田さとみ 議員



屋内プールでの水泳授業の実現を

答 中小建てを機に教育委員会と市長部局で連携し検討を進めたい

議員 猛暑により小・中学校の屋外プールで水泳授業

ができないことが続いている。民間委託による屋内プールでの授業や複数校で共用する屋内プールの建設を検討すべきではないか。

教育長 今後の学校プールの方向性には様々な可能性が考えられるが、学校ごとに整備しない場合は移動手段の確保等の課題があり、慎重に検討している。

議員 市民が利用するプールについても建て替えや集約化に当たり屋内化を進めべきだ。今後のプール整備について見解を伺う。

市長 複数の学校や地域との共同利用など時代に即した検討が必要だ。まずは中原小建て替え基本プラン策定プロセスの中で市民の意見を聞きながら、新川・中原地域のプール整備の在り方について検討していく。



無所属
半田 伸明 議員



景気悪化に備え大型事業の見直しを

答 社会経済状況は不透明さを増しているが中止を考えるほどではない

議員 東京株式市場ではブラックマンデーを超える過去最大の下げ幅が発生するなど、波乱含みの状況だ。市税をはじめ各種交付金なども大幅減になるかもしれないという危機感を持つことが大切だ。羽沢小を天文台敷地内に移すなどの大型事業は、検討すること自体を数年先延ばしにすべきで、中止も視野に入れた方がよいのではないかと。

議員 ちづくりや三鷹駅前再開発は本市を付加価値の高いまちにする重要な取り組みだ。株価急落で社会経済を取り巻く環境は不透明さを増しているが、現時点では中止を考えるほどのものではない。危機を予見し不測の事態による税収減等に備えることは重要な視点であるため、引き続き社会経済の動向等を注視していく。



つなぐ三鷹の会
成田ちひろ 議員



児童館等へのランドセル来館の検討を

答 子どもの第3の居場所の観点から児童館等との連携は検討に値する

議員 子どもが学校から帰り一人で鍵を開けて家に入る際、不審者に狙われない心配する保護者は多い。児童館や図書館に直接行く仕組みの検討が必要だ。

子ども政策部長 施設の受け入れ体制などの課題があり慎重に検討したい。まずは地域子どもクラブの全校毎

日実施に向け努めていく。

教育長 子どもが学校、家庭以外で安心して過ごせる居場所づくりとして検討に値する。実現に向けては、低利用の市有地の活用方針について

での子どもの状況を保護者が把握する方法等についても検討する必要がある。

〈その他の質問〉未利用



日本維新の会
中泉きよし 議員



なぜ今バスネットの抜本的見直しか

答 福祉や活気のあるまちづくりに連動した交通体系を作っていきたい

議員 第5次三鷹市基本計画の第3部・第4交通環境の筆頭にみたかバスネットの抜本的見直しとあるが、課題点が明らかにされていない。なにゆえの抜本的見直しか。所見を伺う。

市長 まちづくりと連動した交通ネットワークが求められており、AIデマンド交通の実証運行を通して福祉やにぎわいに資する新しい交通体系を作っていく必要があることだ。

議員 中央通りでのシティバス運行について、まずは地元商店会が身近で買物ができる環境整備に取り組みのが先ということだが、具体的にどのようなイメージを持っているのか伺う。

市長 バリアフリーや配達



参政党
蛭澤 征剛 議員



地球温暖化対策の費用対効果を問う

答 市としても危機感を持ち、微力でもできることを粛々と進めるもの

議員 本市の温室効果ガス排出量は国全体の僅か0.06%だ。これをゼロにするために市民や事業者が太陽光発電設備等の補助金を出すことへの費用対効果をどう考えているのか。所見を伺う。

市長 よりよい未来のために、行政だけではなく市民や民間企業と一緒に課題だと考えている。

議員 太陽光パネル設置や断熱工事などで電気代が下がる恩恵を受けられるのは経済的に豊かな市民のみであり、温暖化対策という名の優遇策ともとれる。予算の在り方としてどうか。所見を伺う。

市長 消費者の行動が経済動向の鍵を握っており、こうした取り組みが広く社会に影響を及ぼす効果があるものと考えている。